

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

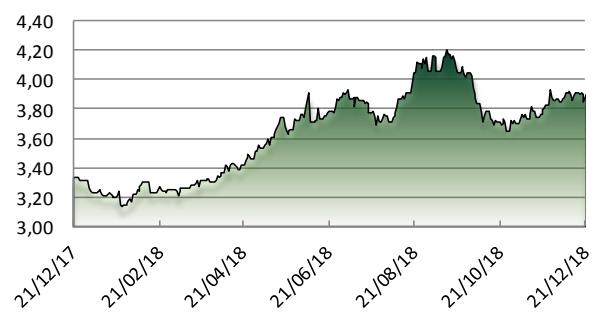
先週末のドルレアルスポット相場は、年末のドル買い需要が引き続き旺盛で、引けにかけてドル買いレアル売りが終始優勢に。再び3.90台まで水準を戻している。なお、Goldfajn中銀総裁は先週20日、ブラジリアで記者団に対し、「国内、国外の要因に加え、企業による季節的なドル需要がレアル相場に影響を与えている」との見解を示した上で、①企業は今年好調な業績を収めており、それに伴う配当金送金が顕著となっている、②中銀はマーケットへの影響を抑制するため、それと同規模のドル流動性を供給する方針(26日には20億ドルのFXクレジットライン入札を予定)、③インフレ率が将来的に上昇するリスクは残されている(特に、改革の承認可能性と外部要因が主なリスク要因)、と述べている。一方、1月1日から発足する新政権に対する期待は依然維持されている。週末にDatafolhaが公表した世論調査によると、65%の国民がブラジル国内経済は早晚、上昇基調を取り戻すと回答(大統領選前8月に実施した同調査では23%)。これは、同社が統計を開始した1997年(Henrique Cardoso政権)以来で最も高い数字となる。但し、経済政策を司るGuedes経済相に圧し掛かるプレッシャーは大きく、国民の期待通り改革を早期に前進させなければ、一転して景気後退を招くリスクも孕んでいる。今朝方ブラジル中銀が公表した週次サーベイ(FOCUS)では、年末の成長率見通しは1.30%で維持された一方、来年末の見通しは2.55%から2.53%へ僅かながら下方修正されている。インフレ率見通しはいずれも改善(2018年:3.71%→3.69%、2019年:4.07%→4.03%)。

マーケットデータ

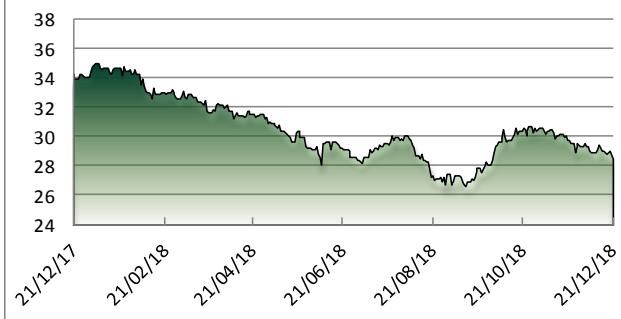
Indicator		Unit	12月20日	12月21日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対 ドル	BRL	3,8442	3,9000	1,45%	2,70%	3,1210	4,2146
	対 円	JPY	28,95	28,51	-1,52%	-4,24%	35,13	26,39
	対 ユーロ	BRL	4,4100	4,4330	0,52%	2,51%	3,8531	4,9213
円	対 ドル	JPY	111,28	111,22	-0,05%	-1,63%	104,56	114,55
	対 ユーロ	JPY	127,40	126,48	-0,72%	-1,77%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		85,269	85,697	0,50%	-2,04%	91,242	69,069
CDS Brazil 5yrs	bps		208,40	210,28	0,90%	-1,65%	311,85	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		9,43	9,38	-0,53%	-6,75%	12,60	9,38
DI Future Jan19 (金利先物)	%		6,40	6,40	-0,02%	-0,39%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,8238	2,8238	0,00%	5,49%	2,8238	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		172,67	172,13	-0,31%	-6,96%	206,95	171,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オブスマントラック: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。